



年末年始の飼養衛生管理徹底を！！

年末年始を迎え、人の出入国や移動が活発になることが見込まれますが、海外では、中国や韓国を含むアジアの広い地域で、アフリカ豚熱の発生が拡大しています。

また、旅客が違法に持ち込もうとした豚肉製品から、アフリカ豚熱ウイルスやその遺伝子が検出された事例もあり、様々なルートで病原体が国内に侵入するリスクがあります。これを踏まえ、改めて病原体侵入防止の徹底、飼養衛生管理の再確認をお願いします。

1 農場への病原体侵入防止

- ・年末年始は人の往来の増加が見込まれるので、看板の設置等により、関係者以外の立入、不要な物の持込みを制限する
- ・車、人の出入り時の消毒など、厳重管理と記録
- ・防護柵、防鳥ネット、畜舎の隙間等の点検・修繕
- ・農場や畜舎周辺の消石灰や消毒薬の散布など

2 早期発見・通報

- ・毎日の健康観察
- ・特定症状等の異状が認められた際の早期通報

3 不要不急の海外渡航の自粛

- ・畜産関係者のアフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航自粛

4 海外からの肉製品の持込の禁止（荷物の中身に注意！）

- ・技能実習生等の外国人従業員を受け入れている農場は、母国を含む海外から肉製品が郵送されることのないよう注意喚起を行う



<豚熱、アフリカ豚熱の特定症状>



40℃以上の発熱、
元気消失、食欲不振



天然孔からの
出血、
血便

その他、
 ・結膜炎（目やに）
 ・歩行困難、後躯麻痺、
 けいれん
 ・削瘦、被毛粗剛
 ・流産などの異常産
 ・死亡頭数の増加 など



耳翼、四肢、
下腹部などの紫斑



下痢、便秘

これらの症状が見られた場合、または、これらの症状以外でも、いつもと様子が違ったり、異常を発見した際は直ちに家畜保健衛生所へご連絡ください